

いいちぢんののおこめは日本一

内原小 二年 わたなべ こう

「こう、きょうなにたべる。」

おがあさんに聞かれると、ぼくのこたえはいつも同じ、

「こんぶごはん。」

だ。こんぶをのせた、ほかほかごはんは、なんともおかわりでさるくらいいいしいから、ぼくがまい日たべているごはんは、いいちぢんが田んぼでつくったおこめだ。四月に

ると、いいちぢんのいえでは、おこめのたねまきをする。まい年、ぼくのがなくは、せんいで、たねまきの身つだにやしている。こ年、ぼくは、はじめたねまき口しうしに、いくびょうばこというトレしをほきりうするわく目せいいちぢんにまがさめた。すこしでもよそみせしてトレしを入れるのがおそくなるよ、トレしとトレしのあいだがあいてしまっ。ほびさるまでは、いぢだといもっていたが、おもっていたよりせんちうもる甘くぬ

だった。

っつかれたらこうかんするよ。

と、ばあちゃんがいってくれたが、ぼくはさ

いごまでやりきった。

っつう、すっいお。たすか。たす。

と、いっちらんにいわれ、とてもうれしく

なっ

夏休み、いっちらんの田んぼは、はっばが

ぐんとのびて、一畝んみどり色だった。

7ころ、九月になつたらいねがりだぞ。

いっちらんにいわれて、はくは、じぶんでま

いたおこめはどんなあじかだ。早くたべたい

かとわくわくした。

ぼくは、え、よもおにいちゃんといっくら

おちやれんで、もりもりのごはとをたべた。

おっげいじいちゃんのおこめは、さいころ。

日本一だ。